

アフガニスタン現代史

内藤 陽介 著

本体 3,600 円+税 / A5 判 並製 / ISBN978-4-86722-106-8 C0022 / 2022 年 3 月刊

混迷のアフガニスタン情勢の理解に必須の通史

911 同時多発テロ事件と

その後のアフガニスタン空爆から 20 年。

西側が支援した新共和国が崩壊し、

再びタリバンが実効支配下に置いたアフガニスタン。

英国、ソ連、米国……介入してきた大国の

墓場と呼ばれてきたこの国の複雑極まりない現代史を、

切手や郵便資料も駆使しながら鮮やかに読み解く。



はじめに

- 第1章 独立以前のアフガニスタン
- 第2章 アフガニスタン王国の独立
- 第3章 ザーヒル・シャーの時代
- 第4章 挫折した2つの革命
- 第5章 親ソ政権とムジャーヒディーン
- 第6章 ソ連軍撤退後の内戦
- 第7章 アルカーイダとタリバン
- 第8章 新共和国とその蹉跌
- 第9章 新共和国の崩壊と「タリバン政権」の復活

【著者紹介】内藤 陽介 (ないとう ようすけ)

1967 年東京都生まれ。東京大学文学部卒業。郵便学者。日本文芸家協会会員。切手等の郵便資料から国家や地域のあり方を読み解く『郵便学』を提唱し、研究・著作活動を続けている。

主な著書 『なぜイスラムはアメリカを憎むのか』(ダイヤモンド社)、『中東の誕生』(竹内書店新社)、『外国切手に描かれた日本』(光文社新書)、『切手と戦争』(新潮新書)、『反米の世界史』(講談社現代新書)、『事情のある国の切手ほど面白い』(メディアファクトリー新書)、『マリ近現代史』(彩流社)、『朝鮮戦争』、『リオデジャネイロ歴史紀行』、『パレスチナ現代史』、『チェ・ゲバラとキューバ革命』、『改訂増補版 アウシュヴィッツの手紙』、『日韓基本条約 シリーズ韓国現代史 1953-1965』(えにし書房)、『みんな大好き陰謀論』(ビジネス社)、『日本人に忘れられたガダルカナル島の近現代史』(扶桑社)、『世界はいつでも不安定 国際ニュースの正しい読み方』(ワニブックス)、『切手でたどる郵便創業 150 年の歴史 vol.1 戦前編』(日本郵趣出版)、『誰もが知りたい Q アノンの正体 (みんな大好き陰謀論 II)』(ビジネス社)。

直取引代行
トランスビュー

えにし書房の商品は、トランスビューの取扱で納品します。直取引の条件はトランスビューの商品とすべて同じ(返品随時可)です。取次ルートの場合は八木書店経由(返品可)です。トランスビューとお取引がない書店様は小社にご連絡ください。ご注文は 1 冊からお気軽に!

貴店名

ご担当

『アフガニスタン現代史』

冊